

## マスコミ各位

平成31年1月17日（木）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担 当：久高、仁平

電 話：098-866-2215

# 麻しん(はしか)患者の発生について(情報提供)

## 1 報道関係者の方へ

本県において、新たに2名の麻しん患者が確認されましたので、情報提供します。

当該患者は、国外から石垣市へ入港した船舶に搭乗していた方で、詳細は「2 患者の情報」のとおりです。患者は入港前には既に発症していたため、八重山保健所管内医療機関の受診以外は船内で療養し、1月15日には国外へ移動しています。そのため当該患者との接触者は限られると考えられますが、八重山保健所は引き続き、接触者等について調査を継続中です。

麻しんの予防には予防接種が有効です。麻しんの定期予防接種対象（第1期：1歳になってから2歳になるまで、第2期：小学校に入学する前の1年間）の方で、まだ接種をされていない方は早めに予防接種（MR ワクチン）を受けていただくよう、県民の方への呼びかけをお願いします。

また、昨年県内で麻しんが流行した際には観光及び接客業に従事している方への感染が多かったことから、外国人観光客と接触する機会が多い等、感染リスクが高いと考えられる観光及び接客従事者の方で、麻しん含有ワクチンを2回以上受けた記録がない方や、過去に麻しんに罹ったことが確実でない方は、積極的に予防接種を受けていただくようお願いします。

## 2 患者の情報

患者1：フィリピン国籍、20代、男性。1月10日より発熱、発疹出現。

平成30年12月29日に、国外で麻しん患者との接触歴あり。

患者2：フィリピン国籍、30代、男性。1月10日より発熱、発疹出現。

### 【経過】

1/8（火）マニラより船舶搭乗。

1/10（木）2名とも発症。

1/12（土）12時頃、石垣市へ入港。

八重山保健所管内医療機関へ事前連絡の上、受診。医療機関へは車両で移動。車両で待機し、個室隔離の上診察等実施。以降は船内で個室隔離の上、

療養。

当該医療機関から八重山保健所へ、麻しん疑い患者報告。

八重山保健所から船舶関係者に対して、感染拡大防止の対策指導を実施。

1/15（火）八重山保健所から衛生環境研究所へ検査依頼し、検体送付。

患者は船内で療養したまま国外へ移動。

1/16（水）検査の結果、麻しん遺伝子陽性。

### 3 麻しん（はしか）について

原 因：麻しんウイルス

潜伏期間：10～12 日

主な症状：感染すると約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が出現。2～3 日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、また、10 万人に 1 人程度と頻度は高くないものの、麻しんウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）と呼ばれる中枢神経疾患を発症することがある。

感染経路：空気感染（麻しんウイルスの空気中での生存期間は 2 時間以下）

感染症法：五類感染症

予 防：予防接種が有効

麻しんに感染しないためには、予防接種が重要です。

麻しんの定期予防接種対象（第 1 期：1 歳になってから 2 歳になるまで、第 2 期：小学校に入学する前の 1 年間）の方は、早めに予防接種（MR ワクチン）を受けましょう。

定期予防接種以降でも、以下に該当しない方は、MR ワクチンを受けましょう。

- 母子健康手帳などで麻しん含有ワクチンを 2 回以上受けた記録がある
- 過去に麻しんに罹ったことが確実である（検査で確認されたことがある）